

「令和4年度伊達市ふれあい懇談会（月舘地域）」発言録

日 時：令和4年11月11日（金）

18時30分～20時15分

場 所：月舘ふるさとふれあいホール

市 長：説明「市長あいさつ、伊達市の5つのまちづくりについて」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

災害復旧・防災・減災関連

■指定緊急避難場所について

市 民：障害をもつ人、高齢者がいる世帯に配られた「指定緊急避難場所一覧」にある特定緊急避難場所を見直していただきたい。以前の災害時に、月舘地区交流館が指定場所になっていたが、川が氾濫し避難しても別の避難場所へ移動することになった。このようなことがあっても月舘地区交流館が指定されているのはおかしい。地元の意見を取り入れた形で反映してほしい。また、管轄がわからないが、保健福祉センター（デイサービス）の霊山、月舘施設が合併すると聞いたが、市の考えは。

危機管理担当参事：月舘地域については、市の持つ公共施設、社会福祉施設を合わせて21か所を指定避難所として指定しています。各戸配布した防災マップにも指定緊急避難場所一覧が掲載されています。災害後、見直しを行い、どの場所をどういった時に開設するか見直しをしました。月舘地方交流館については川の側ということもあるため、浸水被害がある場合は避難所として開設しない取り決めをしました。市としては災害時に優先的に開設する避難所を内部で決めていまして、そこから開設した個所をすみやかに皆さんにお知らせするようにしています。最近ですと、月舘総合支所を優先的に開設するようにしていますが、こちら川がそばということがあり、大雨や台風時には月舘学園の体育館を使えるように防災倉庫を準備させていただきました。コロナ禍ということもあり、少しでも広い場所で間隔をとって入れるように対応を考えています。月舘中央交流館については大雨、浸水時には開設しない対応をしますが、地震などの避難で状況によっては開設をします。指定避難所については市の公共施設を優先的に開設しますが、老人ホーム等を福祉避難所として活用させていただく所存です。有事の際は何より安全を確認し開設しますので、ご理解いただければと思います。

市 民：一覧に開設しない施設名まで載っていると皆が迷ってしまうと思われる。

危機管理担当参事：福祉部門としっかり調整し、皆さんが迷わないようにフォローしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

健康福祉部長：月舘デイサービスセンターについて説明します。社会福祉協議会が運営しており、霊山と合併することは社会福祉協議会の理事会で協議されていることを承知しています。今月14日に地区の対象の方々に詳細を説明する予定とも聞いていますので、その際に確認いただければと思います。今日いただいた意見に関しても社会福祉協議会にお伝えしたいと思います。

■平成27年9月の集中豪雨被害について

市 民：久保田2号橋付近にて平成27年9月に集中豪雨があり、浸水被害にあった。平成30年に測量を行ってから進捗がなかったため、市長への手紙にてやり取りさせていただいた。河川敷の被害が大きかったが、費用の問題もあるため、本区間の改修については再検討させていただきたいと回答を得ていた。何か考えがあつてのことであればお聞きしたいと思った。

建設部長：市長への手紙をいただいており、9月27日に回答させていただいています。久保田2号橋については端面が狭くなっているため現状確認を進めています。また、久保田2号橋のある上流川については、河川の護岸が多少壊れている現状ですが、本区間の改修となると、川の流れを考慮しなければならず、検討を改めてしているところです。市長への手紙にて回答させていただきましたが、計画的に再検討を進めているところであるため、ご理解いただきたく思います。また、パトロールをしっかりとしまして、適切に維持管理しながら速やかな復旧に努め対応させていただきます。

農林業・商工業・観光関連

■大型商業施設の図書館設置について

市 民：2025年問題もあり、高齢者が多い世の中である。私自身も72歳であるが、行く場所がない。都会だと少し歩いただけで喫茶店等がある。楽しみがないと自宅で横になって生活するようになり、足腰が悪くなる悪い循環ができているのが現状だと思う。大型商業施設の誘致も良いが、高齢者が行ける場所を増やしてほしい。具体的には図書館のような施設で、週に1回程度、無料で古い映画鑑賞会等があると良い。どうしても現存の図書館は集まりづらい場所にあるため、大型商業施設の一角に図書館を持つてくることはできないか。

市 長：大型商業施設ができると楽しむ場所が増えますが、施設の内部にどういった店舗が入るかといった詳細は未だはっきり示されていません。子どもから高齢者まで楽しめる空間は必要だと思いますので、どこまで要望が通るかわかりませんが、事業者と話をしていきたいと思います。

■鳥獣被害について

市 民：原発事故以来、月舘町のあちこちにサルが出没している。今年も7月から桃、

リンゴ、野菜の被害を受けている。8月のお盆にはお墓に出没し、お供え物を食い散らかしていた。花火を支給されているが、追い払ってもまた戻ってきてしまうため、いちごっこ状態になっている。被害がこれからさらに拡大すると思われるため、駆除隊に対する支援として、1頭当たりの駆除報酬の増額と冬季の駆除許可を県にはたらきかけていただきたい。市としてほかに対策があれば教えていただきたい。

産業部長：イノシシ、ニホンザルについて目撃情報含め、被害報告を梁川、月舘、霊山から受けています。去年のニホンザルの捕獲数は自治体の方々に協力していただき36頭でしたが、実際は捕獲できないサルが相当いて、被害額も報告以上にあると思っております。対応として花火を渡していますが、サルは頭がよく花火にも慣れてしまいます。サルの追い払いは難しいといわれており、対策をしようにもイノシシのように柵を囲えばいいというわけではなく、フェンスの上に電柵を張る対策が必要です。しかし、囲うにしても広範囲に渡るため、課題が残ります。そこで、今年度、サルの群れや生態をまず調査し、伊達市に被害を与えているサルに対してどういった対策が有効か考えていきたいと思えます。全国的に見ても有効打はなかなかないようですが、音、光で対策できることは考えていきたいと思えます。目撃情報については細めにいただき集約したいと思えますので、よろしくお願ひします。

市 民：イノシシの被害で道路を掘削されてしまう。とてもじゃないが我々の力では直すことができない。限界集落に近いため、対応できずにいる。

産業部長：砂利道が市道であれば建設部にて対応できます。林道であれば、産業部に相談いただければ、場所を実際に見させていただいて必要に応じて対応したいと思います。農地が荒れて山畑になってイノシシが繁殖してしまうことがあるため、森林をきれいにするといった対応も考えていきたいと思えます。

建設部長：イノシシ被害で市道の法面も掘削されてしまうことがあります。市道であれば、場所を教えていただければ対応したいと思います。まだまだ生活用道路の舗装が進んでいない現状ではありますが、予算確保して計画的に進めていきたいと思えます。

■林道の有効活用について

市 民：七ツ森という林道があり、霊山から川俣に続く道である。林道の舗装が壊れ、交通に支障をきたしている。観光名所である女神山に通じる道であるため、この林道を利用した交流人口増加の案があれば教えてほしい。

産業部長：舗装が壊れている個所については確認し、修繕も含めて考えていきたいと思えます。女神山に通じる道ですが、なかなかPRできていない現状でありますので、登山等のパンフレットで引き続き周知を図っていきます。

■保原工業団地の雇用について

市 民：保原の工業団地にどれくらいの企業が決まっているか。また、どういった業種で雇用人数がどれくらいか聞きたい。

産業部長：企業誘致については9月に第二期予約販売で全体の9割程申し込みをいただきました。現在審査中で年内には皆さんにお知らせできると思っています。業種については製造業、物流関連施設で募集していたのでそういった関連の業種が入ると思われます。雇用人数についてはオートメーション化がされているため、昔の製造ライン並みの雇用人数ほどではないと思われます。

健康・福祉関連

■月舘町の過疎化と医療機関の閉院について

市 民：月舘町は福島信用金庫がなくなり、関根医院もなくなった。今後の月舘町について考えがあればお聞かせ願う。

健康対策担当参事：3月に関根医院が閉院したことで、治療が地元で受けられなくなり、市としても残念な思いでいます。関根医院の閉院が地域に大きな影響を与えているとも思っています。医師の確保について、今年度の6～8月に伊達医師会と合同で医業承継アンケートを市内の医師に行っています。今後の事業を次につなぐための調査をし、その結果を受けて伊達医師会と協議をしているところであります。月舘町に限定せず、広域的に医師の確保について検討していきたいと思えます。皆さんが安心して暮らしていけるような体制整備を進めていきます。一人ひとりの健康管理においても、検診、健康相談、元気づくり会を通して進めたいと思えます。

市 民：いろんなものがなくなり、月舘町でこれからも暮らしていけるのか不安になる。

未来政策部長：月舘町に関わらず、梁川町も過疎地域に指定され、伊達市の将来について大変危惧しており、過疎対策を始めています。今年度から高校生を対象に、地元で学校に通える環境にするため通学支援を始めました。新婚世帯に対しても条件が合えば、国の補助制度として30万円支給するものがありますし、市独自のものでは、条件に合えば過疎地域のみ更に30万円追加で支給する取り組みを行っています。「空き家バンク」については今年度から小規模の農地付きの空き家バンクもできるようにしました。農家要件があり、中々農地が使えませんでした。農業委員会の許可があれば空き家に農地を付加できることとなりました。中山間地域はどこも同じ課題を抱えています。全体を見ながら対策を考えていきたいと思っていますので、皆さんも良い案があれば、ぜひ市にお寄せいただき、一緒に考えていきたいと思えます。

市 民：魚、肉、野菜を売る店がなくなり、霊山のファンズにいかないと揃わない。各自宅に食材をもってきてもらう移動販売があり、何とか凌げていることを情報として追加する。

未来政策部長：中山間地はとくに今後、「移動販売」が大きな手立てになると思います。

買い物支援についても考えていかなければ中山間地は成り立たないと思いますので、一生懸命考えていきます。

市 民：関根医院の閉院について、自治会の代表として今後の医師確保に関する要望書を提出させていただいた。その後の進捗は。

健康対策担当参事：今年の5月19日に月舘地域の自治会より要望として市役所に来られた際も対応させていただきました。その後、伊達医師会の会長、副会長と現状についてお話をしているところです。市内の医療機関を調査し、それを踏まえて広域的に市がどのように関わっていくか検討していきます。医療機関の指定は市だけではできないため、県と協議を進めていきます。全国的に医師不足ということもあり、すぐに対応できるものではありませんが、医師会としっかり協議していきますので、よろしくお願いします。

市 長：新たな医院確保は伊達市だけでできるものではありません。県、医師会と相談しながらしっかり確認していきます。閉院したときに、通院されていた人は他の医院を紹介したこともあり、デマンドタクシー等の足を確保していただき、遠くても医療を受けられる体制を整えていきます。

市 民：医療機関がなくなり、万が一、一人にいるときに緊急で医療機関と通信が取れる仕組みはないのか。死に直面した際に食い止めるものはないか。

健康福祉部長：市では緊急通報装置対応事業を行っており、一人暮らしの高齢者が緊急時に、市が委託している受信センターと連絡を取って救急車の手配などできるように通報装置の貸し出しを行っています。対象者は、一人暮らしまたは日中一人暮らしの65歳以上の高齢者と重度障害者の方です。利用料として基本料金をいただくこととなりますが、対象であれば申請をしてお貸しできますので、そちらのご利用をお願いします。

まちづくり・地域振興関連

■姉妹都市、友好都市と旧月舘小学校の利活用について

市 民：姉妹都市、友好都市に福岡県大牟田市を追加していただきたい。幕末期に柳川藩立花氏が領主として移封された経歴がある。農業、商業、観光に大きなメリットがあると思われるため、検討いただきたい。また、旧月舘小学校が解体作業されると思うが、跡地の使い道を決められていないと聞いている。何らかの形で市民の声を吸収する機会があれば、その際に耳を傾けていただきたい。小手小学校等があった場所に、学校の思い出もあるため、後世に残す記念碑のようなものが設置されると良い。

未来政策部長：福岡県大牟田市と歴史上交流があったことは承知しています。友好交流都市についてはお互いの意向を尊重し、色々な面から考えていきたいと思いません。交流拡大で必要なことは積極的に考えていきます。

財務部長：月舘小学校について説明します。耐震が不足しているため改修するにも撤去するにも費用がかかるため、使い道をただいま検討しているところでもあります。地域の声を聴いてほしいとのことですので、地域と相談させていただきながら検討していきたいと思います。

未来政策部長：小手小学校については改修中ですが、その中でアーカイブを展示することを考えており、どこに展示するかは検討中ですが、地元の人も足を運んだ際に歴史を感じられるように進めています。

建設・土木関連

■道路上の危険箇所について

市 民：花工房から降りてきて右へ出る箇所が危険なので一時停止の標識が必要である。そこから先の「下手渡」に下がってくる際の道路についても第1カーブ箇所の道幅が狭いため危険であるため、道幅を広げていただきたい。

建設部長：一時停止については、まず現地を確認させていただきたいと思います。カーブ箇所に道幅については、古い道路ということもあり、道路の線形が以前のままで維持管理させていただいています。こちらについても現地を調査の上、連絡を取らせていただきながら確認したいと思います。

市 民：連絡については不要である。確認をお願いします。

■町内の道路表示について

市 民：町内の道路表示についてお願いがある。町内の横断歩道の停止線が経年劣化により薄れていた箇所をはっきり明示していただいたことがある。町内にはほかにもわかりづらい箇所が多く存在するため、町民の交通安全のために修復修繕をよろしく願います。

市民生活部長：月舘町に関わらず、道路上の横断歩道や停止線が薄れてきています。作業については警察署の公安部が管轄となっています。市としては、できるだけ多く警察署に要望させていただき、優先順位があると思いますが対応いただくようにしています。お気づきの箇所がありましたら、総合支所にご連絡いただきたく思います。

建設部長：道路管理者の立場としては、市で引ける区画線、大側線については予算確認しつつ、計画的に整備を進めさせていただきたく思います。危険箇所を見つけた際はご教授いただければ、現地を確認し、必要に応じて速やかに対応したく思います。